

〈活動報告〉

留学生受入れ促進のための英語講義開催

紀和利彦^{*1}

English lectures for introducing Okayama university to international students

Toshihiko KIWA^{*1}

1. はじめに

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科では、2023年1月18日に、Okayama University Lectures “Interdisciplinary science and engineering” ~To be a pioneer of a better human society~と題し、留学生受入れ促進のための英語講義を実施した。大学院ヘルスシステム統合科学研究科に設置されているバイオ・創薬部門、医療機器医用材料部門、ヒューマンケアイノベーション部門、ヘルスケアサイエンス部門の4部門から教員が参加し、各部門の紹介と、研究に関連した講義を行った。講義はハイブリッド形式とし、配信用のカメラ、音響機器が整備されている岡山大学津島キャンパス 工学部1号館第2講義室で行われた。

2. 広報

図1は、実施案内のポスターである。

Okayama University Lectures
“Interdisciplinary science and engineering”
~To be a pioneer of a better human society~

Graduate school of
interdisciplinary science and engineering in health systems,
Okayama University

Our graduate school at Okayama University targets practical fields of health systems. In other words, we will work not only on medical care centered on outpatient and inpatient treatment at hospitals, but also on comprehensive difficulties and issues, including medical care services at home, nursing care, preventive medicine for prolonging a healthy lifespan, and the way of life in the terminal phase. We aim to raise personnel who can explore issues arising from actual healthcare settings, create ideas that contribute to solving these issues, and putting them into practice in our human society.

Date: 18 January 2023
Time: 1:10pm - 4:30pm (JST)
Venue: Lecture room 2, Kagakubu bldg. #1
Internet broadcasting of the lectures will be provided for overseas students.
Language: English
Organizer: Graduate school of interdisciplinary science and engineering in health systems, Okayama University
Contact: T. Kiwa
kiwa@okayama-u.ac.jp

Lecture Schedule
1:45 pm - 3:35 pm (JST)
Medical Bioengineering
Lecturers: Prof. Ohtsuki, Prof. Hayakawa, Prof. Tokumitsu
2:05 pm - 2:45 pm (JST)
Medical Devices and Materials Engineering
Lecturers: Prof. Yang, Prof. Kiwa
2:55 pm - 3:35 pm (JST)
Health Care Science
Lecturers: Prof. Kano, Prof. Harada
3:45 pm - 4:25 pm (JST)
Human Care Innovation
Lecturers: Prof. Fujii, Prof. Hakamada

Register NOW!(Free of charge)
<https://forms.gle/qz30TzqML4xxuLD8>

図1 開催案内

研究科ホームページ及び、岡山大学内の教員・学生用各メーリングリストで配信した他、日本留学海外拠点連携推進事業（東南アジア）を通じて、ASEAN10 各国を中心に、Facebook, Instagram での広報を行った。また、在外公館や協力機関への広報要請も行った(図2)。結果として、国内外で158名の参加登録があった。

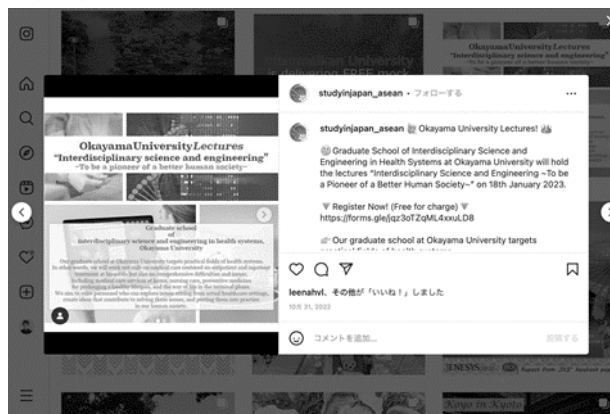


図2 Instagramによる広報(studyinjapan_asean)

その内、海外からの参加登録者は、134名であった。また、講義室には約20名の学生が常時参加し、対面で講義を聴講した。海外では特に、大学院ヘルスシステム統合科学研究科と部局間協定を締結している University Malaysia Pahang(マレーシア)からの参加者が多く見られた。

3. 講義内容

講義に先立ち、紀和より全体の概要について説明があった。岡山の文化的・学術的魅力、岡山大学の魅力を説明したのち、世界的にもユニークな構成の研究科の概要及び、教育研究の国際性について説明があった(図3)。

*1: 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域

*1: Faculty of Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems, Okayama University

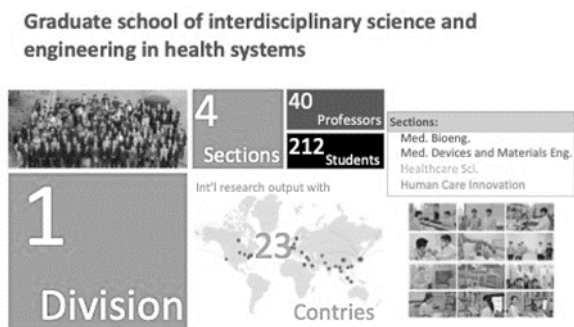


図3 大学院ヘルスシステム統合科学研究科の概要

その後、各部門の教員による英語講義が行われた。まず、バイオ・創薬部門から、大槻高史教授、早川聡教授、徳光浩教授による講義が行われた。続いて、医療機器医用材料部門から、紀和及び楊家家研究准教授の講義が行われた。楊家家研究准教授は、科学技術振興機構 創発的研究支援事業に採択され、研究を精力的に進めている教員であり、研究課題に関連する先端の研究内容に関する講義が行われた。次に、ヘルスケアサイエンス部門の狩野光伸教授よりオンデマンド形式の講義が行われた後、原田奈穂子教授より国際的な看護学に関する活動について講義があった。最後に、ヒューマンケアイノベーション部門から袴田玲講師、藤井大児教授から講義がされた。聴講者はどの講義も非常に熱心に聞き入っていた。

4. オンデマンド講義の配信

本講義では、実際のハイブリッド講義に加えて、動画収録した講義を YouTube にアップロードし、聴講者に提供した(図4)。



図4 YouTube にアップロードした講義動画

内容は以下のとおりである。

1. Guidance (吉葉恭行教授)
2. Introduction (五福明夫教授)
3. Interdisciplinary Science (狩野光伸教授)
4. Social systems for healthcare in Japan (松尾俊彦教授)
5. Approaches from Health Systems Management Science (渡邊豊彦教授)
6. Interdisciplinary Science from Drug Development (徳光浩教授)
7. Approach from Biomaterials Engineering, Development of Biomaterials (早川聡教授)

8. Interdisciplinary Research on “Aging” in Japanese Society (本村昌文教授)
9. Approaches from Clinical Thanatology (日笠晴香講師)
10. Approaches from the Theory of the History of Science and Technology (吉葉恭行教授)

(URL: <https://www.youtube.com/playlist?list=PLN-mMYzi0JiaABk6z99c3slATk2MdlRQG>)

5. まとめ

今回、留学生受入れ促進のための、岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科の独自の試みとして、英語講義をハイブリッド形式で開催した。海外、特に ASEAN からの多くの参加があり、参加者は熱心に講義を聴講した。今後の当研究科への留学生の増加が期待される。また、今回の英語講義を契機に、研究科の英語講義促進につながることを期待したい。

謝辞

本事業を開催するにあたり、横平徳美研究科長、吉葉恭行学務委員長はじめ多くの先生にご協力をいただきました。改めてお礼を申し上げます。

また、本事業は岡山大学グローバル人材育成院 「学生派遣・留学生受入促進のためのプログラム開発経費」の支援を受けて行われた。